

ガドリニウム造影剤を用いた検査を受けられる方へ

1. 問診票と同意書について

あなたは今回の検査で、ガドリニウム造影剤を使用する必要があると主治医から判断されました。以下の詳しい内容をご確認の上、別紙「問診票および同意書」にお答えいただき、ガドリニウム造影剤の使用について同意いただけるかどうかをお知らせください。

ガドリニウム造影剤を安全に使用するために、検査ごとに問診と同意書への記入が必要となります。なお、同意された後でも検査前であれば、同意を撤回することができます。同意書の有効期限は署名日より3ヶ月以内とさせていただきます。主治医もしくは糸魚川総合病院放射線科医師がガドリニウム造影剤を使用する必要がない、もしくは使用できる状態にないと判断した場合、使用を中止することがあります。

2. 造影剤使用について

造影剤とは、体内に投与されることにより起こる画像上の変化を見て、より詳しく調べるために用いられる検査薬です。これにより造影剤を使用しない場合と比べ、より多くの診断上重要な情報を得ることができます。造影剤を使用しなくても検査は行えますが、所見に気づけず正確な診断が出来ない可能性があります。

今回使用するガドリニウム造影剤は、MRI 検査の際、静脈から経血管的に体内に投与されます。体内に取り込まれた造影剤は、経血管的投与の場合、健常な方であれば24時間でほぼ99%が尿から排泄されます。

ガドリニウム造影剤は体に直接作用する薬理作用のない安全な薬剤ですが、お身体の具合によっては下記に説明するような副作用や合併症が出現することがあります。現在のところ、副作用の発生を予見できる確実な方法はありません。ただし一般状態のきわめて悪い方、ガドリニウム造影剤で副作用を経験したことのある方、アレルギー(特に喘息)、痙攣、てんかんの既往のある方、は、副作用が起こるリスクが高いとされていますので問診時にお知らせ下さい。また、造影剤を安全に使用できるかを判断するために採血検査を行うことがあります。主治医らはこれらをもとに造影剤の使用について慎重に検討します。

3. 副作用と合併症

副作用について (造影剤使用全検査中の出現率 0.32%)

- 即時型副作用：検査中や検査直後の早い時期におこる副作用
 - 軽度の副作用 (0.03%)：軽い蕁麻疹、掻痒感、紅斑、悪心、軽度の嘔吐、熱感、悪寒、直ちに回復する血管迷走神経反射など。副作用の多くは一時的なものでそれほど心配はいりませんが、場合によっては投薬、注射などの処置を行うことがあります。
 - 中程度の副作用 (0.01%)：重度の蕁麻疹、軽度の気管支痙攣、顔面・喉頭浮腫、重度の嘔吐、血管迷走神経反射など。投薬、注射、点滴などの処置を行うことがあります。
 - 重度の副作用 (0.003%)：不整脈、痙攣、低血圧性ショック、心肺停止など。点滴、昇圧剤、抗アレルギー薬など入院を含む濃厚な治療が必要となる場合があります。
- 遅発型副作用：検査数時間後～1週間後くらいまでにおこる副作用
 - 発疹などの症状がでることがありますが、多くは軽症の副作用です。

ガドリニウム造影剤を起因とする合併症について

- 重篤な腎障害のある患者へのガドリニウム造影剤使用に関して、腎性全身性線維症の発症が報告されています。造影剤検査後、数日から数ヶ月、時には数年後に皮膚の腫脹、硬化、疼痛から始まり、四肢関節拘縮や最悪の場合死亡に至る例が報告されています。
- 造影剤の血管外漏出（もれ）
造影剤を急速に注入することにより、血管外（皮下など）に漏れる可能性があります。ほとんどの場合、数日以内に吸収されますが、極めて稀に手のしびれや皮膚の変色を伴うことがあり、別に処置が必要になることがあります。

副作用や合併症出現時の対応について

検査室には必要な医薬品や救急用の設備が用意されています。副作用出現時には医師や看護師、放射線技師が対応します。症状の程度によって処置や入院のうえ治療が必要になることがあります。

4. 検査に前処置が必要な方

- 医師から検査前の食事を摂らないよう指示されることがあります。
- 検査前や検査後に点滴の指示をされることがあります。
- その他、検査のために、あるいは体調や病状に応じて、指示が出されることがあります。

5. 検査前

当日体調の悪い方は検査担当者（主治医、看護師、放射線技師）にお知らせ下さい。また問診から検査日までの期間が長い方は検査当日に体調などを再度問診させていただくことがあります。

6. 検査中

ガドリニウム造影剤を投与する際は、スタッフが慎重に患者さまの状態を確認しますが、体調不良や痛みなどを感じた場合はすぐにお知らせください。

7. 検査後

検査後は、別に制限を指示されている方を除き、造影剤の排泄を促すため、いつもより多めに水分をおとりください。入浴や食事など日常生活についての制限は特にありません。検査後に体調が悪くなった場合には時間を問わず当院（診療時間内であれば検査の指示を出した診療科に、時間外や休日は救急外来）にご連絡ください。場合によっては診察が必要なことがあります。外来で検査を受けた方には、連絡先が載っている検査後の注意書きをお渡ししております。

 新潟県厚生連 糸魚川総合病院

025-552-0280(代表)